

猛暑日、外出から戻り冷房に当たっていたら発疹が「寒冷蕁麻疹」は夏でも発症します

立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

寒冷蕁麻疹の症状



暑い夏、外出から戻り急いで体を冷やそうと室内のエアコンの風に当たったり保冷剤で体を冷やしていると、かゆみのあつた発疹が現れることがあります。

この症状について日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

「この症状と原因はなんですか？」
「寒冷蕁麻疹と思われます。寒冷とあります。体温より冷たい風やものに触れるなど急な温度変化が発症のきっかけになりますので、外気温と室内温度差が激しい夏も注意が必要です。タイプが2つあり、局所性寒冷蕁麻疹は直接冷たいものが触れた部位にかゆみと赤みのあるもり上がりた発疹ができます。全身性寒冷蕁麻疹は冷房などによって外気温と各段の差がある部屋に入るなどで全身の冷えがきっかけとなり、全身に強いかゆみを伴う発疹が広がります。どちらも寒冷刺激によって皮膚内部にヒスタミンが分泌されること「原因です」

治療法は？

「多くは時間とともに治まりますが、なかなか治まらない、頻繁に繰り返す場合は寒冷蕁麻疹かどうかを鑑別したのち、抗ヒスタミン剤や抗アレルギー剤の内服薬を処方します。原因が他の病気である、また全身性蕁麻疹ではまれに遺伝性も考えられますので、気になる症状がある場合は、皮膚科の医師に相談してください」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

問い合わせ
TEL042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2021年8月27日付 「リビング多摩」に掲載されました